

# 健康食品今後の展望

## バイオリック 辻大作社長に聞く

今年八月、マスコミを賑わせた『中国産ダイエット食品』は多くの被害者を出した。その後、事態は沈静化したかに見えるが、どうなっているのだろうか。この問題に詳しいバイオリック販売の辻大作社長に聞いてみた。

「ク企業のダイエット食品には「エフェドラ」という成分が配合されています。その結果、全米ではこれを服用して三百人以上の死者が出ているのに、日本ではブームになっています。これも事故を起した中国産のダイエット食品と同じ様、すべて個人輸入されており、厚生労働省の認可を受けていません。当然のことながら、エフェドラは役

たとえばエキスパウダーとするにはフリーズドライして水分を飛ばし、滅菌したりします。そういったいろいろな過程で添加物を使用することになります。例えば、炭酸カルシウムが一〇％あるいは二〇％添加されているエキスを服用し続けたとすれば、結石が出来たりします。添加されるカルシウムはカルシウムと言っても、天然のものでありません。だから結石が出来るのです。

どの技術で何をやるのか  
とくに強調したいのは、

はインドの特産です。英語名では「ターメリック」といい、カレー粉の原料として五千年前から人間の食用に供されてきました。これほど安全性の高い健康食品はないでしょう。

ただそれを単に粉にするだけだと、高度な技術力は必要とできません。いかにその中に有効成分である「クルクミン」を高濃度で純粋抽出できるかという技術が重要になってきます。これこそ、真の健康食品といえます。

当社は五年前、九九％エキスの健康食品原料を完成させています。他企業ではせいせい二〜三％のエキス配合しか出来ていないので、これは技術レベルの違うポイントになってきます。

一時期、ワイン健康法がもてはやされましたが、そのための一日の摂取量は赤ワイン三リットル、四リットルといわれ、これでは肝臓を壊してしまいます。その他にもザクロは女性ホルモンの豊富なためバストが大きいと言われていますが、ザクロ果実には当然のことながら、糖分がたたくさんあるので食べ過ぎると、肥満になってしまいます。

# 「食して安全」がカギ

## 重要なエキス抽出技術

**中国健食事故は水山の一角**  
八月に表面化した、中国

産のダイエット食品の事故は、水山の一角に過ぎません。例えば、米國から入った

所は認可していない成分と「うこと」です。  
天然は絶対安全ではない  
安全ではない

「うこと」について、問題点は二つあります。まず第一は「ハーブは天然だから絶対に安全」だと思いがちです。ハーブが安全という事はありません。麻薬もコカインもハーブなんです。二つ目は、エキスを抽出する際に、天然ものを純粋に抽出している会社は少ないことだと思います。

問われてくる  
抽出する技術  
例えば、茶の葉っぱを煮込んでお茶にします。しかし、何らかの加工をしないと製品にはなりませんね。

安全な物は食  
されている物  
例えば沖繩特産といわれている「ウコン」は、本来

ハーブ自体を絶対に過信してはならない、ということ。さらに無添加エキス抽出という技術は困難なことだと思います。

だから役所に言いたいことは、どういう技術でどういうエキスをつくったのか、と言ったことを確認してほしい。とにかく「ハーブ」を過信してはならないということだと思います。

それでは一番安全なものは何かというところ、何千年もの間、日本人に限らず世界で食されてきたものしかありませんね。これを使用した健康食品は絶対に安全といえます。

安全な物は食  
されている物  
例えば沖繩特産といわれている「ウコン」は、本来